

# 財政収支計画の給水原価・供給単価について



## 給水原価・供給単価の見込み

給水原価は、有収水量1m<sup>3</sup>当たりについて、どれだけ費用を要しているかを表します。供給単価は、有収水量1m<sup>3</sup>当たりについて、どれだけ収益を得ているかを表します。

平成26年度から平成29年度の財政収支計画期間において、給水原価は、経費節減に努めていくものの有収水量が年々減少していくため、1m<sup>3</sup>当たりの単価としては微増で推移する見込みです。また、供給単価は、業務用を中心とした節水の取組等により、高い単価の有収水量が減少することから、年々低下していく見込みです。

## 給水原価・供給単価（総務省方式）

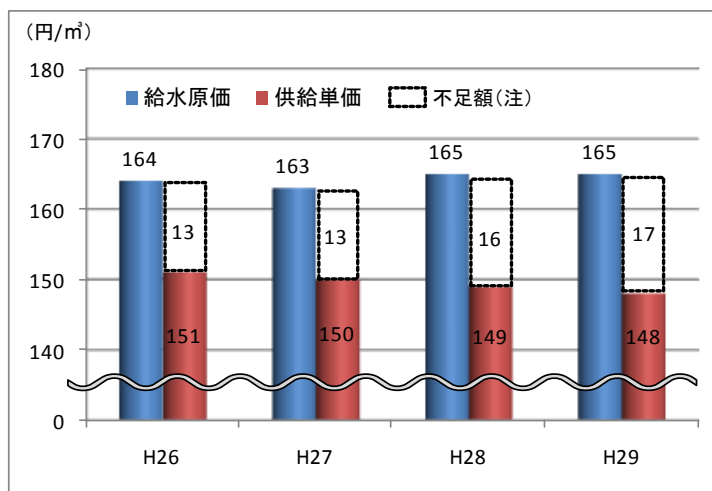
総務省が示す方式で計算した場合の給水原価・供給単価は、右表のとおりです。

### <計算式>

- 給水原価（円/ m<sup>3</sup>）  

$$\frac{\{ \text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費}) \}}{\text{年間総有収水量}}$$
- 供給単価（円/ m<sup>3</sup>）  

$$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$$



## 参考：実質的な給水原価・供給単価

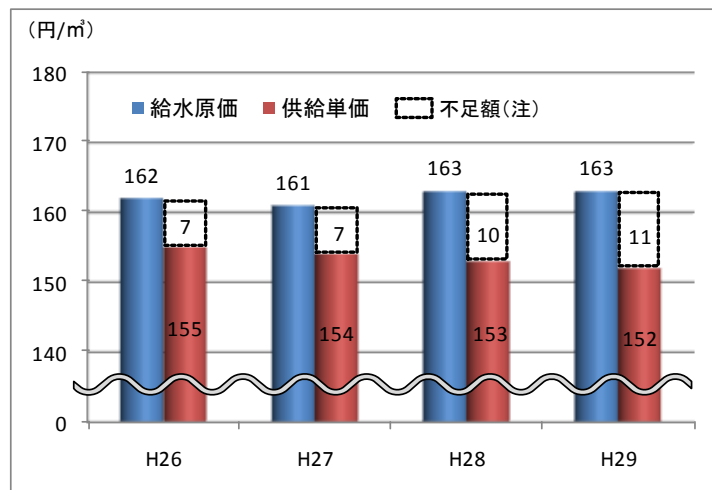
一般会計等からの補助金等を考慮した実質的な給水原価・供給単価は、右表のとおりです。

### <計算式>

- 給水原価（円/ m<sup>3</sup>）  

$$\frac{\{ \text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費}) - \text{一般会計等繰入金} < \text{水道料金減免分を除く} > \}}{\text{年間総有収水量}}$$
- 供給単価（円/ m<sup>3</sup>）  

$$\frac{(\text{給水収益} + \text{一般会計等繰入金} < \text{水道料金減免分} >)}{\text{年間総有収水量}}$$



(注) 供給単価が給水原価に対して不足する額は、給水収益以外の収益で賄っています。